

病棟業務研修について

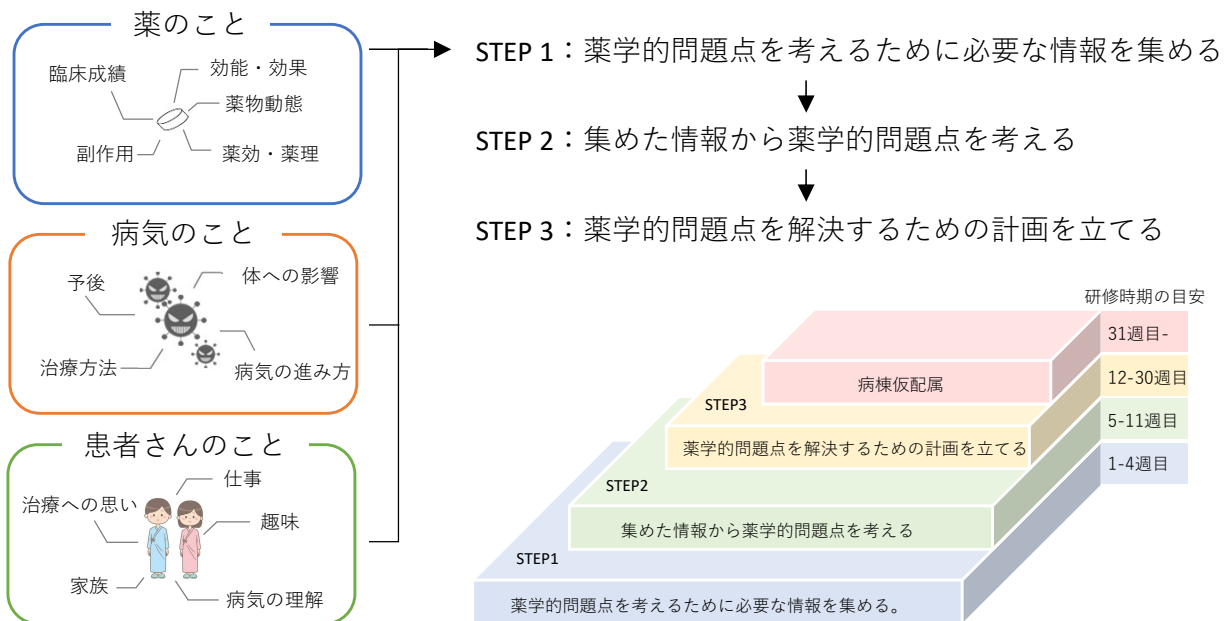
病棟業務では患者さんのために薬学的問題点を解決することが求められています

薬学的問題点とは薬の効果をj得る上で障害となるあらゆることです

薬学的問題点を見つけるためには、
薬のこと 病気のこと 患者さんのことについて
あらゆる情報を集め考える必要があります

そこで名市大病院薬剤部では入職後1週目から病棟業務研修を開始し
病棟業務を行うための基本的な考え方や
患者さんや他職種との関わり方を習得していきます

〈病棟研修の内容〉



(病棟業務研修スケジュール)

先輩薬剤師の病棟業務活動紹介

私は抗がん剤治療を受ける患者さんを担当しました。この方がんは抗がん剤治療の効果が期待できるため、なるべく長期間治療を継続する必要がありましたが、がんによって消化管の動きが悪くなっており、食事を少量しか取れませんでした。そこで私は、抗がん剤治療の効果を十分に得るためには、副作用マネジメントに加えて、栄養管理が必要であると考えました。通常、長期の予後が期待される場合、医学的には胃ろうや胃管を利用した栄養管理が推奨されます。しかし、この患者さんには少量でも食事をしたいという希望がありました。また、画像所見からは、消化管の機能回復は抗がん剤治療の効果次第であると考えられました。そこで医師と協議し、抗がん剤治療中は中心静脈栄養（TPN）から必要な栄養を投与することとし、食べたいものを少量ずつ口から摂取する方針となりました。また、ご自宅でもTPNを行えるように看護師と連携し、訪問看護や訪問薬剤師の導入に関わりました。